

地震により全壊した店舗跡地で地域密着型の商店街を再開 ～『佐沼字小金丁地区仮設施設』～

【 宮城県登米市迫町地区 】

名 称 : 佐沼字小金丁地区仮設施設
所在地 : 宮城県登米市迫町佐沼字小金丁2番地2他
種 別 : 仮設店舗及び事務所
延床面積 : 439㎡
入 居 者 : 小売業、サービス業等
区 画 数 : 6区画
建物構造 : 軽量鉄骨造 1階建て1棟、2階建て1棟
事業開始 : 平成23年7月25日
完 成 : 平成23年11月16日
供用開始 : 平成23年11月16日

登米市迫町佐沼の通称一市通りは（ひといちどおり）は地域密着型の商店街として長年地元から愛されてきたが、近年、少子高齢化や景気の低迷等により、廃業を決めた店舗が跡を絶たなかった。そんな折に、今回の震災により商店街は甚大な被害を受け、古くから賑わってきた商店街は、無残な姿となってしまった。

登米市は、こうした地元住民の生活を支えてきた商店街の再生を図るべく、営業再開が困難な商店・事務所を対象に、店舗跡地を利用して仮設店舗・事業所等を仮設施設整備事業により整備することを計画し、中小機構に仮設施設整備を要望した。

これらの施設は平成23年11月16日に完成した。

